



豪州中銀の利上げ休止と銀行セクターの健全性

豪州準備銀行(RBA)は利上げ休止を決定

豪州準備銀行(RBA)は4月4日の理事会で、政策金利を3.60%で据え置き、2022年5月から継続してきた利上げの休止を決定しました(図1)。

ロウRBA総裁は声明文において、「これまでの利上げの影響と経済見通しを評価する時間を確保するため」、金利据え置きを決定をしたことを明らかにしました。2月の豪消費者物価指数(CPI)が前年比+6.8%に一段と低下したことを受けて、RBAが過去の利上げの影響を見極めるため政策の様子見姿勢に転じたと考えられます(図2)。

RBAは追加利上げの可能性に含みを持たせる

一方、ロウ総裁はインフレ抑制のために「幾分の更なる金融引き締めが必要となることもあり得る」とも述べるなど、追加利上げの可能性になお含みを持たせています(図4)。

もともと、先物市場では、今回の政策金利据え置きを受けて先行きの利上げ観測は概ね消滅しており、目先の政策金利の据え置きと2024年に向けた緩やかな利下げ転換が織り込まれつつあります。

豪州の銀行セクターは高い健全性を維持

また、最近の欧米での金融不安の高まりを受けて、RBAは「豪州の銀行システムは強固であり、十分な資本と豊富な流動性を有している」との評価を示しました。実際、米シリコンバレー銀行破綻を受けて急落した米国銀行株に対して、豪州銀行株は安定を維持しており、欧米金融不安の豪州への波及は限定的に留まっています(図3)。

豪州の銀行の健全性を支える要因として、銀行セクターの中核を占める4大銀行の自己資本比率が高水準で維持されていることが挙げられます。豪州金融監督庁(APRA)の長官は3月28日の講演の中で、仮にGDPが4%落ち込む深刻な景気後退に陥った場合でも、豪州銀行セクターは必要な自己資本の水準を維持し、預金の安全性が保たれるとのストレス・テストの結果を示しました(図5)。

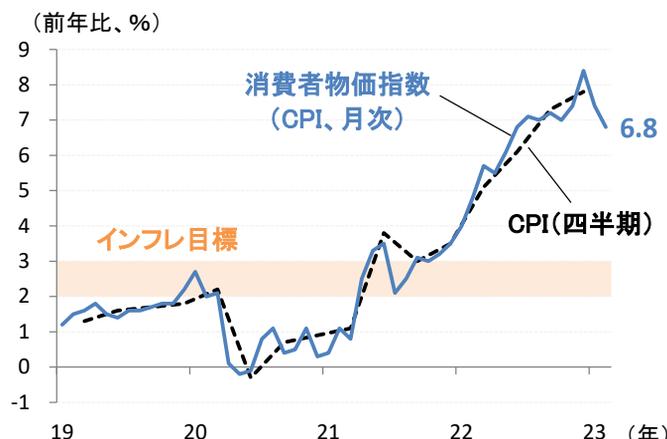
こうした豪州銀行セクターの健全性の高さは、今後の豪州経済の安定した成長を下支えすると期待されます。

図1: 豪州準備銀行の政策金利の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2019年1月1日~2023年4月4日
(注)先物金利は2023年5月限~2024年9月限。

図2: 豪州のインフレ率の推移



(出所)豪州政府統計局
(期間)月次: 2019年1月~2023年2月、
四半期: 2019年1Q~2022年4Q

図3: 豪州と米国の銀行株のパフォーマンス比較



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日~2023年4月3日

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



図4: 4月4日の豪州準備銀行(RBA)理事会の声明文要旨

- 本日の会合で、RBA理事会は政策金利を3.60%で据え置くことを決定した。
- この決定は、2022年5月以降の累積3.5%ポイントの政策金利引き上げを受けたものである。理事会は、これまでの利上げの影響と経済見通しを評価する時間を確保するため、今月は政策金利の据え置きを決定した。
- 豪州の銀行システムは強固であり、十分な資本と豊富な流動性を有している。銀行システムは経済が必要とする信用を提供するのに十分な立場にある。
- 月次CPI指標を含む様々な情報は、豪州のインフレ率がピークに達したことを示唆している。
- RBA理事会は、インフレ率が目標に戻ることを確実にするため、幾分の更なる金融引き締めが必要となることもあり得ると見込んでいる。

(出所) 豪州準備銀行(RBA)

図5: 豪州の大手銀行(4大銀行)の中核的自己資本比率の推移



(期間) 2013年1Q~2022年4Q

豪州金融監督庁(APRA) ジョン・ロンズデール長官発言 (2023年3月28日)

- 豪州の銀行システムは世界で最も強固で、最も回復力がある。
- APRAが豪州の大手10行に対して最近行ったストレス・テスト(健全性審査)によれば、GDPが4%落ち込む深刻な景気後退が到来し、失業率が11%に上昇するという不測の事態が生じた場合でも、銀行セクターは規制上最低でも必要とされる以上の自己資本を維持し、銀行預金は安全な状態が保たれることが判明した。

(出所) 豪州金融監督庁(APRA)、各種報道

(注) 4大銀行はオーストラリア・コモンウェルス銀行(CBA)、ナショナル・オーストラリア銀行(NAB)、オーストラリア・ニュージーランド銀行(ANZ)、ウエストパック銀行(WBC)。